

講座「生きること」開催記録 2018 年度～2024 年度

| 開催年度 | 講師 | テーマ |
|------|---|---|
| 2018 | 新居 真理 (バクバクの会～人工呼吸器とともに生きる～関西支部幹事) | 人工呼吸器があってもみんなと一緒に！ ～支援者と地域で暮らす |
| | 児島 一平 (NPO みんなの未来かいたく団代表理事) | ひきこもりだった。でも、だからこそ感じられたことやできたことがあった。 |
| | 黄 光男 (ハンセン病家族訴訟原告団副団長) | 閉じ込められた命～私の母はハンセン病でした |
| | 菅本 香菜 (株)CAMPFIRE FOOD・LOCAL 担当) | 食べることは、生きること～拒食症だった私が、旅するおむすび屋を始めた理由 |
| 2019 | 武田 秀司 (福島市立平野中学校教諭) | 福島子どもたちと教育現場の今～差別や偏見から負けない強い心を育てるために |
| | 井上 鈴佳 (レズビアン保健室の先生) | あなたの身近にもいる LGBT～男女や LGBT だけじゃない！性のあり方は十人十色 |
| | 広野 ゆい (NPO 法人 DDAC (発達障害をもつ大人の会) 代表) | 発達障害と生きる～当事者からのメッセージ |
| | 永野 三智 (一般財団法人水俣病センター相思社常務理事) | 水俣をとおして社会とつながる |
| 2020 | 谷岡 哲次 (認定 NPO 法人レット症候群支援機構 代表理事) | 娘が不治の難病と診断されました。～「レット症候群」をご存じですか |
| | 大矢 和枝 (東大阪市在住) | 米軍人の父とウチナーンチュの母の子として生まれて～人との出会いの中で沖縄と向き合えるように |
| | 金 秀煥 (南山城同胞生活相談センター 代表) | 在日 3 世としてウトロに関わって～そこから見えた人権と日本社会 |
| | 牧 秀一 (NPO 法人阪神淡路大震災よろず相談室 前理事長) | 人は人によって救われる～25 年間の震災ボランティア活動から |
| 2021 | 常石勝義 (元 JRA (日本中央競馬会) 騎手) | もう一度、大好きな馬と夢を掴みたい～高次脳機能障害を乗り越えて |
| | 牛島貞満 (元東京都公立小学校教員) | 牛島満と沖縄戦～国内での最大で最後の地上戦から学ぶこと |
| | 玉井 浩 (大阪医科薬科大学小児高次脳機能研究所長) | 命の選別への警鐘～出生前遺伝学的検査と胎児の人権 |

| | | |
|------|---|---|
| | 柳谷 和美 (おやこひろば桜梅桃李 代表) | トラウマとともに、自分らしい生き方を見つけるまで～サバイバーが語る性暴力・DV・虐待 |
| 2022 | 坪倉 優介 (ゆうすけ工房 草木染作家) | 記憶を失うとどうなるのか？ ～交通事故にあい脳の中まで出血する～ |
| | 白石 由美 (市立ひらかた病院副院長兼看護局長兼医療相談・連携顧問) | 新型コロナウイルス禍の中で 「生きること」を考える |
| | 清田 悠代 (NPO法人しぶたね理事長) | 重い病気のある「きょうだい」がいるということ ～自身の体験と、きょうだい支援の活動から～ |
| | 安野 輝子 (大阪空襲訴訟を伝える会) | 生えてこなかった足 ～空襲体験記とその後のこと～ |
| 2023 | 渡邊 洋次郎 (依存症回復施設職員・生活支援員・介護福祉士) | 生き直し～人は強制力では変わらない。変わるとしたらそれは自分の中に息づく愛を知った時～ |
| | 語り部 KOBE1995 田村勝太郎(語り部 KOBE1995 前代表) 崔秀英(語り部メンバー崔敏夫の三男) 和氣光代(元中学校教諭) | 阪神・淡路大震災から得た教訓 ～支え合うこと～ |
| | チャン・ティ・ヒエン (通訳翻訳業・ベトナム語司法通訳人) | ベトナム語の通訳を続けて 25 年 ～日本とベトナムの間で～ |
| 2024 | 山本 英由美 ろうと LGBTQ を支援する団体「Deaf LGBTQ Center」代表 | ろうと LGBTQ の交差から「多様性」を考える |
| | 松尾 秀人 中央労働災害防止協会認定「心理相談員」 | 強くなくても…支えていただいた 79 年～29 年間のカウンセリング活動で教えていただいた宝もの～ |
| | 河西 優 立命館大学衣笠総合研究機構(人間科学研究所) 補助研究員/YCARP 発起人 | ケアと自分の人生～もっと知ってほしい、子ども・若者ケアラーのこと～ |
| | 丸岡 康一 箕面市人権協会 北芝地域協議会 会長 | 「であい・つながり・げんき」が豊かなコミュニティをつくる |